

JAPAN INSTITUTE FOR LIBERTARIANISM ACTIVITY REPORT 2023

2023年1月に「自由主義研究所」を立ち上げてから、1年がたちました。
立ち上げ時には、藤丸哲郎・順子と蔵研也の3人でしたが今では活動を応援・手伝ってくれる人もいます。2023年は立ち上げたばかりで、活動も手探り状態でした。
現在は、藤丸が代表、蔵が主任研究員です。
今後はさらにメンバーを増やし、活動を広げていきたいと思っています。



公式サイト
www.jiyuu.jp



@jufujimaru
藤丸@自由主義研究所



YouTube
@ClassicalLiberalJapan
自由主義を学ぶ会



n+e
自由主義研究所



メール送信します



01 勉強会

自由主義研究所の活動の根幹です。知識人や政治家、一般人を対象に、自由主義（クラシカルリベラル、リバタリアニズム）やオーストリア学派経済学を普及していきます。

オンライン読書会主催

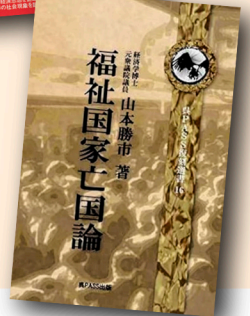
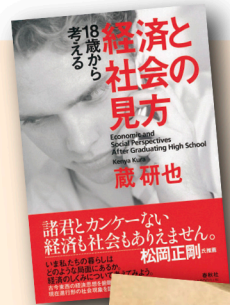
2023年は合計60回開催しました

2020年にたちあげた「自由主義を学ぶ会」としての活動ですが、コツコツと継続しています。今年は海外の自由主義フォーラムへの参加のため、しばらく開催できない期間があったのですが、それでも年間に合計60回開催しました。いつもご参加くださっている皆様、本当にありがとうございます。参加者を募集中ですので、参加

希望の方はご連絡ください。YouTubeで読書会の動画を公開しているので、参加のハードルが高い、との意見もいただきまして、次の本（山本勝市著「福祉国家亡国論」を予定）はYouTubeライブでの配信もします。



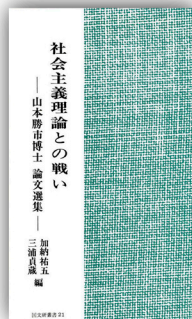
自由主義を学ぶ会
CLASSICAL LIBERTARIANISM
STUDY GROUP



山本勝市読書会

2023年は合計35回開催しました

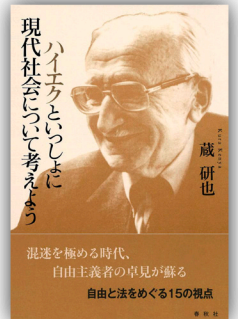
日本に貴重な自由主義者の先人・山本勝市（元自民党議員）の「社会主義理論との戦い」を読んでいます。かなり難しい内容もありますが、自由主義研究所の研究員である経済学者・蔵研也の解説で、理解を深めています。戦前の日本の全体主義化の様子もわかり、自由主義の大切さを痛感します。録画をYouTubeで公開しています。



ハイク読書会

2023年は合計16回開催しました

自由主義者ハイクの思想を紹介・解説するとともに現代日本の問題点を自由主義視点で考えようという本「ハイクといっしょに現代社会について考えよう」を、著者（蔵研也）の解説付きで読んでいます！
これは2024年2月に読了予定です。



バーク読書会

2023年は合計9回開催しました

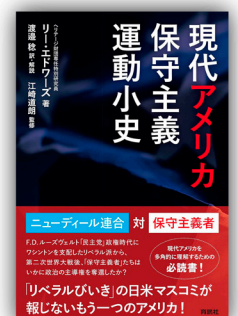
江崎道朗先生解説による、エドモンド・バークの保守自由主義を学ぶ勉強会です。バークの思想の理解を深めるため、イギリス史・アメリカ史も学んでいます。



「現代アメリカ保守主義運動小史」の有志による勉強会

オンライン/全5回終了

本をまとめ・議論することでアメリカの保守主義の政治運動を学び、日本での今後の政治運動に活かします。
この本で、活動の成功のためには「哲学者」「解説者」「慈善家」「政治家」「活動家」といった役割が必要だと学びました。



02 海外フォーラム参加

自由主義の国際ネットワークに参加し、海外の自由主義者との連携を重視しています。

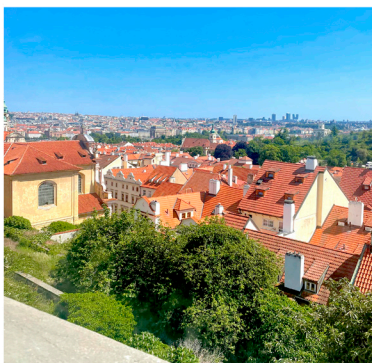
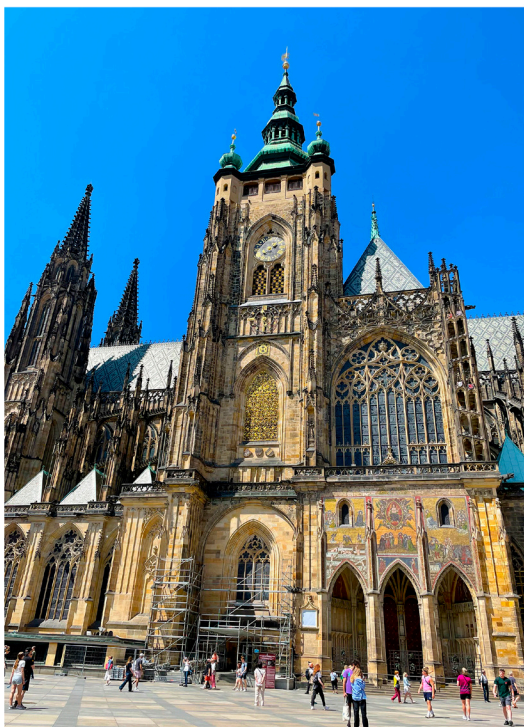


5月／チェコ

ヨーロッパ・リバティ・フォーラム 世界納税者連盟総会 参加・登壇

日本に「自由主義」「リバタリアニズム」があまり広がっていないことから、世界の自由主義ネットワークへの日本からの参加者は、現在非常に少ない状況です。

同じ価値観を共有することで仲間になり、世界の自由主義者と連携することは重要です。また、自由主義運動の発展や自由主義政策の具体例を海外から学び、日本の運動・政策に活かすことが必要だと考えています。



ハイエク研究所 バーバラ・コルム所長と面談

バーバラ・コルム氏は、現在オーストリア中央銀行の副総裁です。
オーストリアからチェコ・プラハまでわざわざ来てくださり、本当に貴重な時間でした。



03 政治運動

自由主義思想の普及のみならず、自由主義思想を基に具体的に政治へ影響を与えるための活動も重要だと考えています。他の団体様と連携して、減税・規制緩和の普及を行います。

5月 開始～継続中

加熱式たばこ増税の反対署名運動
オンライン署名運動

change.org オンライン署名を始める 賛同・開始した署名 オンライン署名一覧 会員プログラム ログイン

署名ページ コメント

加熱式たばこの増税に反対する署名請願！

防衛増税＝たばこ？
約2兆円
たばこ消費者は既に巨額の税負担をしています
加熱式タバコ増税反対の署名をしましょう

開始日 2023年5月3日

この署名で変えたいこと

署名の発信者 風見雄

加熱式たばこの増税に反対する署名請願

たばこは安易な増税対象となることが多く、約2兆円程度の巨額の税負担がたばこ消費者に対して事実上行われています。

たばこに対して特別な課税を行う理由は、たばこは食品品などのような生活必需品とは異なる特殊な嗜好品としての性格を有することにあるとされています。しかし、数あるその他の嗜好品の中からたばこのみを本来適度な課税対象とする合理的な根拠はありません。

また、2010年度（平成22年度）税制改正大綱では「たばこ税については、国民の健康の観点から、たばこの消費を抑制するため、将来に向かって、税率を引き上げていく必要がある」とされており、たばこ増税が行われる理由として健康目的のニュアンスが盛り込まれています。

ただし、税増を今すぐ一律に禁止することは、たばこ消費者が日本に数千万人単位で現実存在している以上非現実的であり、その有害性を低減するためのハムリダクションの考え方を積極的に採用することが望ましいものと考えます。

実態、2010年度以降に急速に紙巻たばこの消費が低減している理由は、加熱式たばこが普及していることが原因の1つとなっています。

紙巻たばこには既に税金が十分に増徴されています。

一方、加熱式たばこは健康に対するリスクの存在が指摘されていますが、多くの研究機関が様々なビジネスを蓄積している中で、ハムリダクションに寄与する技術革新に向けた取り組みが積極的に行われています。

加熱式たばこの技術革新によって、健康被害を低減するイノベーションが起こり、将来的な医療費低減にも繋がる可能性があります。

2022年12月自民党税制調査会にて、防衛増税の財源を法人税・所得税・たばこ税の3つの税目を組み合わせて賄うという増税案で一旦の決着を見ましたが、同

34,171 賛同 35,000 次の目標

今すぐ賛同

氏名

名前

Eメールアドレス

Twitter ID

国

同意した際、自分のアカウント名及びコメントを公開する（チェックを外しても賛同はできます）

今すぐ賛同

QRコード

change.org

10月・12月

“加熱式たばこ増税反対”
記者会見 [蔵研究員]

10月・12月

自民党税制調査会副会長

田中和徳議員と
面談 [蔵研究員、藤丸代表]

たばこは安易な増税対象となることが多く、約2兆円程度の巨額の税負担がたばこ消費者に対して事実上行われています。政府が増税の標的としてたばこを狙い撃ちするのは、「有権者の多くが増税しても反対しなさそう。簡単に増税できそうだから」です。

国民の多くが「増税しても、まあいいか。規制しても、まあいいか」と思ったら、増税・規制できる、という考え方は大間違いです。それは少数者の自由や権利を、あまりにも軽く考えています。

民主主義は多数者がなんでもできる、というものではありません。また、加熱式たばこは、所得税・法人税とともに「防衛増税」の一部です。加熱式たばこを絶対に増税させないことで、所得税・法人税の増税も止めることができると考えています。

2023年12月の自民党税制調査会の総会では、2024年度税制改正大綱で、増税開始時期の決定が見送りとなり、活動の成果が出たと思います。今後も増税の実施阻止へ尽力していきます。



署名
34,170 筆
(2024年1月15日時点の数)



8月／川崎

04 講演会イベント

自由主義者が集まり交流する場を作ることを目的としています。

自由主義研究所 初のイベント
“Japan Freedom Party”
を開催しました

お盆の連休初日で暑くて台風も危ぶまれた中、全国から多くの方(約80名満席)が集まってくださり、自由主義の未来は明るいと実感しました！

ゲストの江崎道朗先生、柿埜真吾先生には、ここでしか聞けないような貴重なお話を伺うことができました。講演会後の立食パーティも大変盛り上がり、ここで出会った方々はその後も付き合いが続き、自由主義の広がりを感じています。

次もリアルでの交流できるイベントを企画したいと思っています！

The 1st.
JAPAN FREEDOM PARTY 2023.8.11
全席 無料

SHINGO KAKINO, KENYA KURA, MICHIO EZAKI
そろそろ本当の自由を考えてみないか。

会場
川崎日航ホテル 京川崎駅中央東口より徒歩1分
神奈川県川崎市川崎区日進町一番地 京川崎駅より徒歩5分
羽田空港より京浜東北線で行く約15分

PROGRAM

17:00 トークショー
17:30 対談 江崎道朗氏(評論家・情報学研究者) & 蔵研也
【全体主義の危険性と日本にリベタリアンが必要な理由】
18:00 休憩
18:10 スピーチ 山本ひろこ氏(自由主義研究所代表)
18:15 対談 柿埜真吾氏(経済学者) & 蔵研也
【「オーストリア学派」・「ミクロ経済学と公共選択論」】
18:45 スピーチ 内山 優氏(日本税制改革協議会会長)
18:50 終了
立食パーティ 19:00～

主催 自由主義研究所

Peatix
https://peatix.com/event/35039335
上のQRコードからお申し込みください

JAPAN INSTITUTE FOR LIBERTARIANISM



05 note 記事投稿

自由主義研究所

2023年は86本の記事を投稿

自由主義をより多くの人に広げ共感してもらいたいという思い、様々なテーマで記事を書いています。

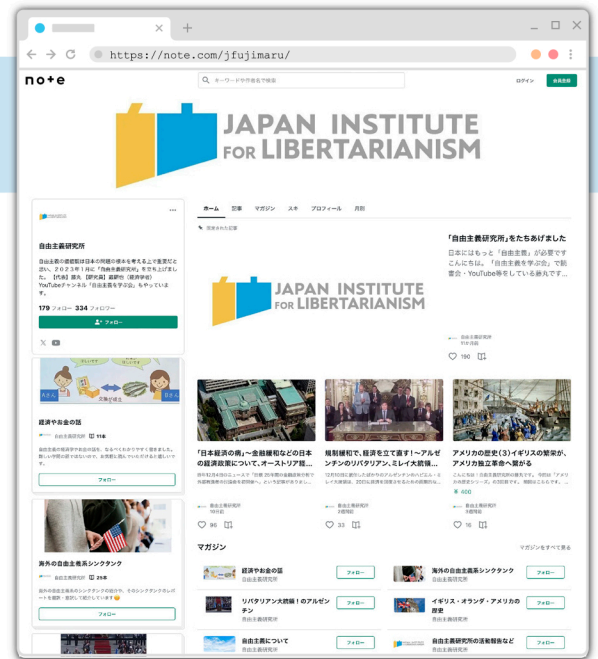
- ◎自由主義について
- ◎自由主義経済学を知るための「経済やお金の話」
- ◎自由主義を歴史から理解するための「イギリス・オランダ・アメリカの歴史」
- ◎海外の自由主義系シンクタンク(シンクタンクの記事の翻訳・解説など)
- ◎「リバタリアン大統領!アルゼンチン」

などのシリーズがあります。

今後は記事の執筆者を増やし、さらに多彩なものにしていきたいです。



note
自由主義研究所



06 その他の活動

アルゼンチンの自由主義経済学者マリアさんにインタビュー、ミレイ大統領就任演説の日本語字幕など、Youtubeとnoteへの投稿

アルゼンチン企画

2023年12月にリバタリアンのミレイ大統領が誕生したアルゼンチン。ミレイ大統領はオーストリア学派の経済学者でもあります。大統領就任演説で個人名を出して称えたヘスース・ウエルタ・デ・ソト氏の著作を翻訳したのは、自由主義研究所の蔵研也研究員です！世界中の自由主義者が大注目のアルゼンチンとミレイ大統領ですが、その思想を理解するために、「オーストリア経済学」について、自由主義研究所として発信をしていきたいと思っています。



Youtube企画

- ・「ニュースを自由主義目線で解説!」(仁科さん、黒滝さん)
- ・「リバタリアンとはなにか!」ロスバードの解説(岩倉さん)



07 各種イベントへの参加

- 6月 減税と規制緩和を実現させる講演会(大阪)
- 6月 市長選ゲーム参加(京都減税会主催)
- 8月 Japan-US イノベーション・サミット(東京) [\[蔵研究員登壇\]](#)
- 9月 自由経済研究会(四日市) [\[蔵研究員登壇\]](#)
- 9月 JTR定期訪問
- 11月 関西減税サミット(京都) [\[蔵研究員登壇\]](#)
- 11月 市長選ゲーム参加(滋賀減税会主催)

その他、減税会主催やStudents For Libertyのオンラインイベントのほか、救国シンクタンク、江崎塾のオフ会など、多数のイベントへ参加しました。



寄付のお願い

2023年1月末にたちあげた「自由主義研究所」は、今月2年目に入ります。

オンライン読書会開催やnoteへの記事の投稿などをコツコツと継続しながら、講演会やフォーラム・交流会などのイベントも実施して**自由主義の共感者を広げていきたい**と思います。

コロナ禍にみられたように、**有事には政府によって「個人の自由」が侵害**されます。個人もその影響を受け、全体主義化する傾向があります。

今後も災害や疫病、戦争などで、「自由」は簡単に失われるかもしれません。そのため、普段から「自由」の重要性を広げ、**全体主義の危険性**を訴えていくことが重要です。

このような活動を広く行い普及していくためには、多くの資金が必要となります。

❶勉強会 のところにも書きましたが、活動の成功のためには「哲学者」、「解説者」、「慈善家」、「政治家」、「活動家」といった役割が必要です。

自由主義研究所の理念には、少しずつ賛同してくださる仲間が増えていきます。しかし、自由主義研究所の活動を金銭的な面で支えてくださる「慈善家」はまだまだ少ない状況です。

自由主義研究所の理念と活動方針にご賛同してくださる方がいらっしゃいましたら、会費という形での寄付のご協力をお願い申し上げます。

- 会 費 正 会 員:年間12,000円
賛助会員:12,000円を超える年会費を寄付していただいた方(金額は自由です)
会費は以下までお願いいたします。

振込口座 住信SBIネット銀行 法人第一支店
普通 1929653 口座名 カ) ゴウドウガイシャクラシカルリベラル

- 今後の活動予定
- ・初学者用のオーストリア学派書籍の翻訳
 - ・デ・ソト氏の本の内容の講義
 - ・海外出張(アメリカ、アルゼンチンを予定)